

イベント／ワークショップ

こどもとおとな+夏の美術館

7/23[土]～8/28[日]

会期中、様々な体験活動やワークショップを行います。

美術館アートまつり

2/5[日]、3/5[日] 10:00～12:00/13:00～15:00

簡単な工作やゲームなど様々なプログラムを楽しめる1日です。

レクチャー／ギャラリートーク

ミュージアム・レクチャー

「理想の書物 ―英国19世紀挿絵本からプライベート・プレスの世界へ―」展会期中、関連したテーマによる連続講演会等を予定しています。

サンデー・ギャラリートーク

毎月第2日曜日(4～6、9、1月を除く) 14:00～14:40

学芸員がコレクション展示作品について解説します。

こども・ファミリー向け事業

こどもアートツアー

10、12、2、3月の第3土曜日 14:00～15:00

小中学生を対象に、アートカードを使ったゲームや対話形式による作品鑑賞を行います。親子での参加も歓迎します。

*都合により中止となる場合があります。

ファミリータイム

開館中の毎月第2、4木曜日 9:30～12:00

小さなお子様連れが気兼ねなく鑑賞鑑賞ができる親子優先時間帯です。

ボランティアによるイベント等

ボランティアによる作品解説

美術館ボランティアがコレクション展示について随時解説します。

学校との連携プログラム

学校団体の見学サポート、出張授業、教員対象研修などを行っています。
*要申込

*詳細についてはお問い合わせください。

*記載内容については変更することがあります。

群馬県立近代美術館友の会

美術館を支援する団体です。入会すると以下の特典があります。

■「群馬県立近代美術館」と「群馬県立館林美術館」で開催される展覧会のうち、両館あわせて2回(半期会員は1回)を無料で、それ以外は半額で観覧できます。

■「高崎市美術館」、「高崎市タワー美術館」、「高崎市山田かまち美術館」を団体割引相当額で観覧できます。

■上記5館の展覧会や会員限定イベントなどの情報が定期的にお手元に届きます。

■賛助会員は、上記のほか近代美術館のレセプション招待や会報及び館内等での会員名紹介(希望者のみ)などの特典があります。

会員種類と年会費(有効期間は4月1日～翌年3月31日)

□一般会員(個人)2,000円 半期会員1,000円(10/1～翌年3/31)

□学生会員(高校・大学・各種専修学校在学中の個人)1,000円

□家族会員(同居2人分)3,000円(3人以上は1人あたり1,000円追加)

□個人賛助会員 1口 10,000円 1口あたり会員証5枚

□法人賛助会員 1口 20,000円 1口あたり会員証10枚

利用案内

開館時間 9:30～17:00(入館は16:30まで)

休館日 施設改修工事等のための休館日(4/1～7/1)

月曜日(休日の場合はその翌日。8/15、11/28、12/12、12/19は開館)、年末年始

展示替・メンテナンスのための休館日(カレンダーに記載)

観覧料 企画展示

展覧会によって異なります。なお、企画展示の料金でコレクション展示もご覧いただけます。

コレクション展示

一般300(240)円、大高生150(120)円

※()内は20名以上の団体割引料金

※中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名、群馬県民の日(10/28)に観覧される方は無料です。

割引「共通パスポート」(一般5,230円) 県有12施設に1年間フリーで入場できるパスポート

「ぐーちょきシニアパスポート」 平日のみ、県内在住65歳以上の方が利用できるパスポート(2割引)

※チケット窓口にて販売・発行しています。

施設ミュージアム・ショップ、絵本コーナー「えほんの森」

レストラン「森のレストラン こるむす」(Tel. 027-346-5500)

講堂、茶室(貸出可。詳細はお問い合わせください。)

設備 車いす/ベビーカー/多機能トイレ(1F)/おむつ替え台/授乳・救護室/コインロッカー/エレベーター

交通案内

電車・バス

JR高崎線・湘南新宿ライン・上野東京ラインまたは上越・北陸新幹線で高崎駅下車(新幹線は東京駅より約60分)。JR高崎駅東口より、市内循環バスぐるりん「群馬の森線」9系統(約38分)、10系統(約26分)、または「岩鼻線」15系統(約25分)で、いずれも「群馬の森」下車(200円)。

タクシー

JR高崎駅東口より約20分。JR倉賀野駅より約10分。JR新町駅より約10分。

車

上信越自動車道「藤岡I.C.」高崎方面出口より出て、県道13号を前橋方面に約10分。関越自動車道「高崎玉村スマートI.C.」(ETCのみ)より出て高崎方面に向かい、県道13号を藤岡方面に約8分。北関東自動車道「前橋南I.C.」より県道13号に出て、藤岡方面に約15分。県立公園「アイ・ディー・エー 群馬の森」駐車場をご利用ください(無料)。



表紙:ピエール・ジョゼフ・ルドゥーテ「バラ図譜」より「ロザンティファリア・フォリアケア」(部分)1820年
コナサース・コレクション東京蔵(「うるわしき薔薇―ルドゥーテ「バラ図譜」を中心に」展出品作)

群馬県立近代美術館

THE MUSEUM OF MODERN ART, GUNMA

〒370-1293 群馬県高崎市錦賀町992-1

Tel.027-346-5560 Fax.027-346-4064 http://mmag.pref.gunma.jp/



事業案内

'22
2022.4→2023.3

おもな展覧会の内容

うるわしき薔薇―ルドゥーテ「バラ図譜」を中心に

2022年7月9日[土]―8月28日[日] 展示室 1

観覧料:一般800(640)円、大高生400(320)円

※()内は20名以上の団体割引料金

ピエール＝ジョゼフ・ルドゥーテ(1759～1840)はパリで彫版法と多色刷りの技法を学んだ後、王妃マリー・アントワネット、次いでナポレオン后妃ジョゼフィーヌの植物画家として活躍し、多くの植物図譜を世に出しました。その画業のなかでも169種のバラを全て自身で描き、1817年から1824年にかけて銅版多色刷りにより出版した『バラ図譜』全3巻はルドゥーテの代表作であり、史上最も美しい植物図譜のひとつに数えられます。本展は『バラ図譜』より選び出された約120点を中心として、植物図譜をみる愉しみと、育て愛でる花としてのバラの魅力を紹介する展覧会です。さらに、日本のボタニカル・アートの先駆者のひとりである二口喜雄が手がけた『ばら花譜』(平凡社、1983年)の原画素描や、写真家石内都が独自のまなざしでバラを撮った「Naked Rose」シリーズを合わせて紹介し、時代を超えて人々の心をとらえる「花の女王」の人気の秘密に迫ります。

関連事業:

講演会、アーティストトーク、学芸員による作品解説会を予定

理想の書物 ―英国19世紀挿絵本からプライベート・プレスの世界へ―

2022年9月17日[土]―11月13日[日] 展示室 1

観覧料:一般900(720)円、大高生450(360)円

※()内は20名以上の団体割引料金

世界に先駆けて産業革命を成し遂げたイギリスでは、中産階級の台頭をみた18世紀末から19世紀にかけて読書の需要が高まり、大量の書物の出版が促されるなか、伝統的な本作りの変化が余儀なくされました。そこに起こったのが、印刷の黎明期である15世紀や、さらに中世の写本にまで遡って本作りを研究し、あらためて読みやすく美しい本を作ろうとするプライベート・プレス運動です。ウィリアム・モリスが手がけたクルムスコット・プレスに代表される、選び抜かれた紙、活字、デザイン、装丁で本に仕上げる小規模の出版活動は美術的に価値の高い、また機能的で読みやすい出版物を生み、本作りにおけるひとつの理想型を作り上げます。本展では、美しい本作りの伝統をつないだ19世紀イギリスの挿絵本を中心に紹介する第1部と、プライベート・プレスの出版物に焦点を当てた第2部により、理想の書物を求めた運動を跡づけることを試みます。

関連事業:

講演会、学芸員による作品解説会を予定

アートのための場所づくり 1970年代から90年代の群馬におけるアートのスペース

2023年1月21日[土]―4月9日[日] 展示室 1、ギャラリー

観覧料:一般700(560)円、大高生350(280)円

※()内は20名以上の団体割引料金

明治初期に創業した書店、煥乎堂は、前橋の店舗内で古くから美術展などを開催し、1954年に店舗を新築するとギャラリー専用のスペースを設け、活発に展示活動を行いました。特に創業家の高橋元吉と縁の深い高田博厚を中心とした一元会展や県内作家をセレクトした煥乎堂美術展は継続して開催され、作家や文化人が分野を超えて集い交流する場となっています。この展覧会は、20世紀後半を通して活動を続けた「煥乎堂ギャラリー」を中心に、作家が運営の主体となって同時代の様々な表現を紹介した「ぐんまアートセンター」や「アートハウス」、白川昌生らによる「場所・群馬」に活動拠点を提供するだけでなく積極的に関外作家を招聘し独自の活動を展開した「北関東造形美術館」など、1970年代から90年代の群馬県内におけるアートの活動史を振り返り、多様な人々が集い、新たな創造を生み出す場となったそれぞれのスペースの特質や県内アートシーンに果たした役割を検証します。

関連事業:

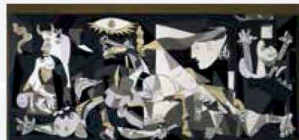
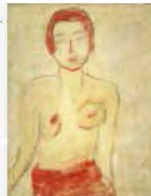
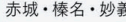
座談会、学芸員による作品解説会を予定

2022年度 群馬県立近代美術館年間予定表

●：休館日

2022	4	5	6	7	8	9	10	11	12	2023	1	2	3
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
	1 2	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4	1 2	1 2 3 4 5 6	1 2 3	1	1 2 3 4 5	1 2 3	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4	1 2 3 4	1 2 3 4
	3 4 5 6 7 8 9	8 9 10 11 12 13 14	5 6 7 8 9 10 11	3 4 5 6 7 8 9	7 8 9 10 11 12 13	4 5 6 7 8 9 10	2 3 4 5 6 7 8	6 7 8 9 10 11 12	4 5 6 7 8 9 10	8 9 10 11 12 13 14	5 6 7 8 9 10 11	5 6 7 8 9 10 11	5 6 7 8 9 10 11
	10 11 12 13 14 15 16	15 16 17 18 19 20 21	12 13 14 15 16 17 18	10 11 12 13 14 15 16	14 15 16 17 18 19 20	11 12 13 14 15 16 17	9 10 11 12 13 14 15	13 14 15 16 17 18 19	11 12 13 14 15 16 17	15 16 17 18 19 20 21	12 13 14 15 16 17 18	12 13 14 15 16 17 18	12 13 14 15 16 17 18
	17 18 19 20 21 22 23	22 23 24 25 26 27 28	19 20 21 22 23 24 25	17 18 19 20 21 22 23	21 22 23 24 25 26 27	18 19 20 21 22 23 24	16 17 18 19 20 21 22	20 21 22 23 24 25 26	18 19 20 21 22 23 24	22 23 24 25 26 27 28	19 20 21 22 23 24 25	19 20 21 22 23 24 25	19 20 21 22 23 24 25
	24 25 26 27 28 29 30	29 30 31	26 27 28 29 30	24 25 26 27 28 29 30	28 29 30 31	25 26 27 28 29 30	23 24 25 26 27 28 29	27 28 29 30	25 26 27 28 29 30 31	29 30 31	26 27 28	26 27 28	26 27 28 29 30 31

■：企画展示 ■：コレクション展示 ■：公募展

展示室 1		7/9~8/28 うるわしき薔薇—ルドゥーテ『バラ図譜』を中心に  ピエール・ジョゼフ・ルドゥーテ『バラ図譜』より (ロサ・ガリカ・フティフォリア) 1821年 コノサズ・コレクション東京蔵		9/17~12/21 理想の書物 —英国19世紀挿絵本からプライベート・プレスの世界へ—  ローレンス・ハウスマン画 クリスティーナ・ロセッティ著 『ゴブリン・マーケット』1893年刊より カペー(左)、表紙(右) 群馬県立館林美術館蔵	第73回群馬県展 美術	11/25~ 12/4	第73回群馬県展 書道	12/11~ 12/21		1/21~4/9 アートのための場所づくり 1970年代から90年代の群馬におけるアートのスペース  「鶴屋夢幻」の16種のはなの詩による版面展—金子英彦セリグراف展」案内状 (ぐんまアートセンターギャラリー、1974年)		
展示室 2	休館 4/1~7/1 ※前年度に引き続き 施設改修工事を 予定しています。	7/2~8/28 日本と西洋の近代美術Ⅰ  パブロ・ピカソ《グルニカ(タピスリ)》	休館 8/29 9/16	9/17~12/21 日本と西洋の近代美術Ⅱ  長谷川利行《少女》	休館 11/14 11/24	群馬県展 美術	休館 12/5 12/10	群馬県展 書道	休館 12/22 1/13	1/14~4/9 日本と西洋の近代美術Ⅲ  岡田謙三《ダブル・ランドスケープ》	休館 4/10	
展示室 3		7/2~8/28 現代の美術Ⅰ		9/17~11/13 現代の美術Ⅱ  ヘンリー・ムーア 『羊連作』より 《羊の親子Ⅰ》		11/1~ 12/21 「萩原朔太郎大全 2022」連携展示 詩とイメージ —句修作品を 中心に				1/14~ 4/9 現代の 美術Ⅲ  マティス『ジャズ』		
展示室 4		7/2~7/31 ルドンの版画	8/2~8/28 ムンクの版画  オノサト・トシノブ《無題》		9/17~ 10/30 20世紀 イギリス美術					1/14~2/26 マティス『ジャズ』  マティス『ジャズ』より《ナイフ投げの男》	2/28~4/9 ジョゼフ・アルバース 『形成・連接』	
展示室 5		7/2~8/28 生誕110年 特集 オノサト・トシノブ		9/17~12/21 幾何学的構成の美  長谷川宗宅 《柳橋水車園図景》 戸方庵井上コレクション 群馬県指定重要文化財		11/1~ 12/21 染めと織り —着物の美—				1/14~4/9 荒川修作  上毛三山をえがく 赤城・榛名・妙義	2/28~4/9 墨の力 —近現代の書—	
展示室 7	山根記念館	7/2~7/31 花いろいろ  福田元子 《水蓮》	8/2~8/28 院展ゆかりの画家たち		9/17~10/30 水のある情景					1/14~2/26 上毛三山をえがく 赤城・榛名・妙義	2/28~4/9 墨の力 —近現代の書—	